

平成 29 年度東京都への予算要望について

平成 29 年度予算要望

貴局に於いては、平成 28 年 2 月に「東京水道施設整備マスタープラン」並びに「東京水道経営プラン 2016」を公表されました。

東京都水道施設整備マスタープランには策定の目的、計画期間を平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間とする中長期的な施設整備目標が具体的な数値をもって明記されました。又、東京水道経営プラン 2016 では、経営の基盤、運営体制や取組が明記されました。

両プランに於いて明記されたのは、具体的な目標数値が示す様に、水道の根源的使命である安全で高品質な水を如何なる状況に於いても安定して供給する事が使命だと承知を致しております。

当組合に於いては、安定給水に脅威を与える更新時期を過ぎた配水小管の耐震化や老朽化した給水管等の整備及び材質改善を早期に達成する事が減災、安定給水を可能にすると承知致しております。

組合員各社は、貴局が示される事業計画に依り中長期的な設備投資、雇用の確保等に努めております。

貴局が示される各請負単価契約案件に於いて、年度中途に事業量の変動や減量が行われると、組合員各社の経営環境も著しく変化を余儀なくされる場合も御座います。

貴局が計画された事業等の早期達成及び誠実な履行の一翼を担う事が適うように安定発注に努めるよう要望致します。

#### ① 水道緊急工事（漏水修理）請負単価契約に関する要望

水道緊急工事(漏水修理)請負単価契約は緊急性を求められる特殊な契約であり、当契約の重要性、必要性を十分に理解致しております。

当組合では平成 24 年 4 月 20 日に貴局と「災害時における水道施設等の応急処置の協力に関する協定」を締結しており、協力団体としての責任を履行すべく毎年実施している防災訓練をはじめ、技術者の雇用確保、資機材、労務宿舍、資材置き場の確保、又、技術力の継承や向上も含めた中長期的設備投資に努めております。

貴局では、新たに平成 28 年 2 月に改定された「東京水道施設整備マスタープラン」には安定給水、震災対策等の詳細な数値目標も明記されました。

緊急時における貴局のご要望は勿論の事、貴局が策定される事業目的や数値目標の早期達成を誠実に履行し、都民に対する給水を可能な限り確保する事が当組合の使命と考えております。

当組合では、緊急時における対応能力向上を責務とし、断水被害の抑制や早期に平常給水可能と成るよう応急対策諸活動を迅速、的確に実施できる体制を早期に確立されるよう水道緊急工事(漏水修理)請負工事単価契約におきましては、貴局の事業目標に拠る契約事業者数の確保、並びに事業数値が早期達成と成るよう避難所や主要な駅等、給水管耐震化の事業継続と早期発注を強く要望致します。

《回答》

震災時に多くの人が集まる避難所や主要な駅へ給水を確保するためには、給水管の耐震化が、極めて重要と認識しております。

そのため、引き続き、避難所などへの供給ルートの耐震化に先行して、配水管の分岐部分から水道メータまでの給水管の耐震化を計画的に実施してまいります。

### ② 給水管整備及び取り出し工事請負単価契約に関する要望

当組合では、貴局が新たに平成 28 年 2 月に改定された「東京水道施設整備マスタープラン」における取組状況の数値等、早期の耐震継手化を旨に大規模災害時においても断水しない水道の構築に微力ながら是非ともその一翼を担いたいと考えております。

給水管の耐震強化、並びに漏水の未然防止、耐震性能の早期確保、断水率の軽減と早期復旧が可能と成りますよう私道内における塩化ビニル製の給水管の材質改善工事や私道内給水管整備事業をさらに推進されるよう要望致します。

私道内給水管整備事業に於きましては、東京水道施設整備マスタープランでは、平成 37 年度までに約 1, 100 km 余りの整備対象延長を残しております。

組合員各社は毎年、1 年間計画的に発注されている事業費を執行致しましてもまだ、施工余力を充分に残しております事から年間予定事業費をさらに増加するよう強く要望致します。

《回答》

これまで、給水管の耐震強化におきましては、平成 24 年度より、私道内給水管整備工事の施工要件を緩和するとともに、私道内における塩化ビニル製等の給水管のステンレス化を事業化することで、事業全体の対象延長を拡大しながら事業を進めてまいりました。

今年度は、急激な工事単価の上昇による影響で、執行管理の徹底を図りながら計画的な工事の発注を行っております。

平成 29 年度以降も、引き続き計画的な事業執行に努めてまいります。

### ③ 小中口径メータ引換工事請負単価契約に関する要望

組合員各社は毎年、1 年間計画的に発注されている 1 社当たりの施工量を完工致しましても

まだ施工余力を残しております。

小中口径メータ引換工事請負単価契約におきましては年間の発注量の増加につながる施策を強く要求致します。

《回答》

本契約は、主に有効期限を迎える水道メータの引換を行う契約案件であることから、毎年の発注量は決まっていることを御理解願います。